

2022年度第1回日本臨床環境医学会理事会議事録

日時：2022年6月24日（金）16:30-17:45

場所：〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2 新宿キャンパス中層棟 8F ファカルティークラブ

議長：坂部貢理事長

出席者：東賢一、鍵直樹、香山不二雄、木村穰、坂部貢、佐藤勉、関根嘉香、野崎淳夫、平久美子、高野裕久、森千里、柳宇

オブザーバー：相澤好治顧問、北條祥子名誉会員

欠席者：石竹達也、吉田貴彦

配布資料：2022年度第1回日本臨床環境医学会理事会議事次第

議事に先立ち、初代理事長で本学会の設立に尽力された石川哲名誉会員（2022年5月18日ご逝去）のご冥福を祈り、一同で1分間の黙祷を捧げた。

また、坂部貢理事長・柳宇会長・東賢一次期会長からご挨拶を頂戴した（柳宇会長は授業が重なったため議題間でご挨拶）。次期会長からは来年度の第31回学術集会は2023年6月24日（土）・25日（日）に近畿大学本部キャンパスにおいて開催予定との案内があった。

議題

審議・報告事項

1. 事業報告

- 1) 会員数報告：2022年3月31日現在、会員数は197名（購読会員1名、賛助会員1社）、昨年度の入会は学生会員2名を含む12名。分科会の構成員はなるべく学会員であることが望ましいとの要望があった。
- 2) 2021年度事業報告：配布資料に基づき執行部体制、分科会活動、学会誌発行状況、学術集会開催、会計等の報告がなされた。HP管理を含む会員管理事務の2022年度委託契約が2022.3.1に締結され、現在事務移管が進行中、学術会議への本学会登録申請は準備中であり、学術著作権協会への学術集会抄録集委託は保留中との報告があった。
- 3) 第29回学術集会の報告：会計報告とともに初のオンデマンド開催（会期2021.6.26-8.27）となった学術集会について関根理事より最終報告があった（昨年度報告済み）。
- 4) 編集委員会報告：直前に開催された編集委員会の議事について報告された。学会誌の発刊は遅延しつつも新体制下で2021年度内に2号分が発刊、今後の発刊予定、バックナンバー保管等についての報告があった。

2. 2021年度分科会活動報告について

3分科会（病院・高齢者施設環境分科会、環境アレルギー分科会、環境過敏症分科会）は今年度が継続2年度目となるが、配布資料に基づき2021年度の活動報告が、それぞれ柳理事、平理事、北條名誉会員からなされた。

3. 会員事務委託について

昨年度の理事会の決定に基づき（一社）学会支援機構への会員管理事務移管の手続きがホームページの管理委託も含めてすすめられ、今年度より実現した。ただし名簿の整理・移管、ゆうちょ銀行の振替口座の開設には時間がかかっており、現在進行中である旨、木村理事より報告があった。また、現在の本部事務局および「臨床環境医学」編集事務局の継続性についての問題点が指摘された。

4. その他

木村総務担当理事より、来年度は理事定年を迎えるが今後はWEB会員登録を推進し、「臨床環境医学」や学術集会抄録集のバックナンバー整備など学会ホームページ充実に力を入れる方向性で、今年度一杯は学会運営に尽力するとの表明がなされた。

審議事項

1. 理事・評議員等の異動について

配布資料をもとに役員等の所属氏名等の確認がなされ、同時に坂部理事長が会則通り、来年まで理事長を務めていただけることが確認された。今井理事退任、会費滞納などによる7名の評議員退任、旭川市長の改選による評議員交代などが承認された。

2. 新規理事・評議員の推薦について

配布推薦書をもとに網中雅仁会員の理事推薦が佐藤理事より、また清野正子会員の評議員推薦が坂部理事より紹介され、承認された。また上記異動を含め、今期の体制の確認が承認された。

3. 2021年度会計報告について

配布資料をもとに会則に基づき2021年度収支決算が木村総務担当理事より報告された。年会費未納分の回収や第29回学術集会からの返金、会員管理事務委託のための予算が2022年度に繰り越されたため100万円強の黒字となっている。

4. 2021年度会計監査について

上記決算報告に対する会計監査が2022年5月16日に清野監事の元で実施され、配布資料にある会計監査報告書を受け取った。上記2021年度会計報告とともに承認された。

5. 2022年度予算（案）について

木村総務担当理事より2022年度予算案が提示され、承認された。会員管理事務委託および過年度の事務局経費立替の精算があるために繰越金から30万円強の補填が必要であるが十分対応可能と予測される。

6. 2024年度次々期会長の選出について

新たに理事に推薦された網中雅仁現評議員が2024年度次々期会長として推薦され、承認された。

7. 2022年度分科会活動計画について

継続2年度目を迎える3分科会（病院・高齢者施設環境分科会、環境アレルギー分科会、環境過敏症分科会）について、それぞれ代表の平理事、北條名

誉会員、柳理事より配布資料に基づき説明がなされた。研究会開催やアンケート調査活動、書籍の出版計画など今年度も活発な活動を展開される予定で、2021年度の活動報告は「臨床環境医学」ならびにホームページに掲載、2022年度活動計画もホームページに掲載されている。

8. 会則改正について

ゆうちょ銀行の振替口座開設申し込みの際、学会の設立年月日と事務局所在地の明記が求められ、配布資料通り事務局で修正した会則を提出したことに対し木村総務担当理事から経緯説明があった。総会において後追い承認いただく予定であることが示され、理事会においても承認した。なお種々の点で本格的な会則改正が必要であるため、理事会を中心に今後改正案が検討される旨、提案され承認された。

9. その他

「臨床環境医学」のバックナンバーの製本化が進められ、16巻から20巻までの製本が済んだことが事務局より写真資料で紹介された。現在、30巻までの製本を依頼中であり、8月中に納品予定。

以上